源流　第２０３号　教育長　儘田　文雄

ノート指導を通した授業改善

◆　思考力・判断力・表現力を育む上で、ノートは極めて重要な働きをします。**<u>書くことは考えることであり</u>**、言語情報を操作する手段です。

◆　**<u>「ノートは思考の足跡」</u>**です。
　ノートの記述のうち、最も尊いのは**<u>子供自身の考えとその変容</u>**です。そのため、自分の考えは消さずに残し、補強や修正は色ペンを使うなどの工夫をさせたいものです。

◆　ノートはポートフォリオの機能を有し、学習履歴になります。また、子供たちの**<u>自己学習力</u>**を高め、**<u>生涯にわたり主体的に学ぶ基盤</u>**を築きます。

◆　義務教育段階で重視したいのは、**<u>自立した学習者の育成</u>**です。ワークシートは授業の効率を高める一方、それを授業の主軸に据えると、子供の学びの自立性を阻むおそれも内包しています。先日参観した授業では、ワークシートはあくまで補助的な活用にとどめ、あらかじめノートに貼りやすく周囲をカットして配り、授業中に貼らせていました。

◆　次に記すのは、授業改善につながるノート指導の例です。

❶ 学習課題を書かせ、学ぶねらいを自覚させる。 → **課題の明確化**
❷ 既習事項等を活用して、自分の考えを書かせる。 → **自己の考えの構築**
❸ 友達の考えの中で、参考になる考えを書かせる。 → **考えの交流**
❹ 友達の考えを基に、自分の考えを加筆・修正させる。 → **自己の考えの再構築**
❺ 学んだことや新たな課題等を書かせる。 → **振り返り・新たな課題の発見**

※ 本号でいう「ノート」は、１人１台端末のノート機能を含む。

挑む

大リーガー　大谷翔平

まったく違う環境に行くということは、どの分野でも不安なことが多いと思う。でも、さらに良くなる可能性がそこにあったら、僕はチャレンジしてみたい。

出典：「大谷翔平は、こう考える」（桑原晃弥著　ＰＨＰ文庫）

※　まさに「チャンス、チャレンジ、チェンジ」の精神、すばらしいですね。